

講義シラバス

科目名	衛生管理 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	1年	講師名	沖田史代				
講師 プロフィール	看護師として病院に勤務後、2018年より札幌ベルエポック美容専門学校にて講師として衛生管理を担当しています。								
【授業を通じての到達目標】									
美容師は髪や頭皮など人の身体に直接触れる仕事なので、使用する器具や施術における衛生管理の重要性と知識が習得できる。国家試験合格のため、積極的に学ぶ姿勢を身につける。									
【学習内容】									
美容師に必要な衛生管理の知識として、「感染症」「衛生管理技術(消毒法)」について教科書を中心に解説し、練習問題を行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
衛生管理の教科書、筆記用具、ノート、授業で配布したプリント									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/18)	【到達目標】 感染症の予防 微生物の病原性と人の感受性、汚染・感染・発病、常在細菌叢、免疫と予防接種について知識が習得できる。				⑨ (11/27)	【到達目標】 消毒法と適応上の注意に関する知識が習得できる。(消毒法の種類、消毒に必要な条件、病原微生物の抵抗力、消毒薬の使用、保存上の注意)			
② (10/2)	【到達目標】 感染症の発生の要因、感染症予防の三原則について知識が習得できる。				⑩ (12/4)	【到達目標】 理学的消毒法(煮沸消毒・蒸気消毒・紫外線消毒)に関する知識が習得できる。			
③ (10/9)	【到達目標】 空気・飛沫を介して感染する感染症について知識が習得できる。				⑪ (12/11)	【到達目標】 化学的消毒法(エタノール・次亜塩素酸ナトリウム・逆性石けん)に関する知識が習得できる。			
④ (10/16)	【到達目標】 飲食物を介して感染する感染症について知識が習得できる。				⑫ (12/18)	【到達目標】 化学的消毒法(両性界面活性剤・グルコン酸クロルヘキシジン)に関する知識が習得できる。すぐれた消毒法とその実施上の注意に関する知識が習得できる。			
⑤ (10/23)	【到達目標】 学祭準備日のため課題対応 ※授業なし				⑬ (1/15)	【到達目標】 各種消毒液、消毒液希釈法、器具の使い方についての知識が習得できる。			
⑥ (10/30)	【到達目標】 血液等を介して感染する感染症について知識が習得できる。動物・節足動物を介して感染する感染症について知識が習得できる。感染症の具体的な対策について理解できる。				⑭ (1/22)	【到達目標】 希釈液を作るときに必要な計算ができるようになる。美容所の消毒の実際について理解できる。			
⑦ (11/6)	【到達目標】 消毒の原理について知識が習得できる。汚染・感染・発病と消毒の意義についての知識が習得できる。				⑮ (1/29)	【定期試験】60 感染症(感染症の予防～)、衛生管理技術(消毒法)の範囲で試験			
⑧ (11/13)	【到達目標】 殺菌・消毒・滅菌・防腐の定義に関する知識が習得できる。美容業務と消毒、消毒に関連のある法の規定に関する知識が習得できる。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	保健 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	1年		講師名		岡田弥生		
講師 プロフィール	2児の母、看護師歴は長く今も訪問看護師をしています。手術看護師歴が長いため体の構造については詳しいです								
【授業を通じての到達目標】									
美容業に従事する者にとって密接な関係にある保健について内容を十分に理解し、知識を得る。 国家試験合格のため、積極的に学ぶ姿勢を身につける。									
【学習内容】									
美容師に必要な人体の構造と機能、皮膚科学を理解し、授業をとおして知識を習得していくことができる。 教科書、プリントなどを用い、適宜小テストなどを行う									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
保健の教科書、筆記用具、ノート、授業で配布したプリント					課題を期限内に提出できるか確認する				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/18)	【到達目標】 新学期に向けた目標設定を行う				⑨ (11/27)	【到達目標】 皮膚と付属器官の保健について理解する			
② (10/2)	【到達目標】 皮膚の構造について理解する				⑩ (12/4)	【到達目標】 皮膚と付属器官の保健について理解する			
③ (10/9)	【到達目標】 皮膚付属器の構造(毛)について理解する				⑪ (12/11)	【到達目標】 皮膚と付属器官の保健について理解する			
④ (10/16)	【到達目標】 皮膚付属器の構造(皮脂、汗腺、爪)について理解する				⑫ (12/18)	【到達目標】 皮膚と付属器官の疾患について理解する			
⑤ (10/23)	【到達目標】 皮膚の循環器と神経系について理解する				⑬ (1/15)	【到達目標】 皮膚と付属器官の疾患について理解する			
⑥ (10/30)	【到達目標】 皮膚と付属器の生理機能について理解する				⑭ (1/22)	【到達目標】 これまでの授業の内容を理解しているか復習、確認			
⑦ (11/6)	【到達目標】 皮膚と付属器の生理機能について理解する				⑮ (1/29)	【定期試験】50 皮膚科学の学んだことをテストで確認			
⑧ (11/13)	【到達目標】 前半での学びについて確認テスト				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容技術理論 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	1年		講師名		飯嶋美智江		
講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就く。国家試験科目を含む実技指導の経験を活かした内容の授業を心掛け、現在は美容技術理論を担当。								
【授業を通じての到達目標】									
美容師の国家試験に向けて、専門分野の技術・理論の知識に限らず、カウンセリングを通してお客様への心遣いが重要なことを理解する。国家試験合格のため、積極的に学ぶ姿勢を身につける。									
【学習内容】									
美容に関わる専門分野の幅広い技術の種類と知識の流れまた専門用語などを理解する。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
美容技術理論教科書①②、筆記用具、ノート、授業で配布したプリント					教科書の写真・図の理解を深める。				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/16)	【到達目標】 <定期試験フィードバック・教科書①> 各自の弱点、理解できていない項目を自覚する。				⑨ (11/25)	【到達目標】 <教科書①・定期試験対策(1)> 作業姿勢・人体各部名称・美容用具・シャンプーの出題傾向問題の対策			
② (9/30)	【到達目標】 <教科書②・エステティック> 肌質のタイプ・基本手技・フェイシャルケア技術の理論を学び理解する。				⑩ (12/2)	【到達目標】 <教科書①・定期試験対策(2)> ヘアカッティング・ヘアセッティングの出題傾向問題の対策			
③ (10/7)	【到達目標】 <教科書②・メイクアップ①> メイクアップの目的・皮膚の構造・色彩・パーソナルカラー・道具の種類と消毒・まつ毛エクステンションの理論を学び理解する。				⑪ (12/9)	【到達目標】 <教科書①・定期試験対策(3)> パーマメントウェーブ・ヘアカラーリングの出題傾向問題の対策			
④ (10/14)	【到達目標】 <教科書②・メイクアップ②> スキンケアからリップメイクアップまでの技術とブライダルメイクアップ(男性)の理論を学び理解する。				⑫ (12/16)	【到達目標】 <教科書②・定期試験対策(4)> エステティック・メイクアップの出題傾向問題の対策			
⑤ (10/21)	【到達目標】 <教科書②・ネイル技術> ネイル技術の種類・道具・手順の基礎知識を学び理解する。				⑬ (1/13)	【到達目標】 <教科書②・定期試験対策(5)> ネイル技術の出題傾向問題の対策			
⑥ (10/28)	【到達目標】 <教科書②・日本髪> 種類・各部の名称・装飾品・技術手順の基礎知識を学び理解する。				⑭ (1/20)	【到達目標】 <教科書②・定期試験対策(6)> 日本髪・着付け技術と理論の出題傾向問題の対策			
⑦ (11/4)	【到達目標】 <教科書②・理解度確認テスト> エステティック・メイクアップ・ネイル技術・日本髪の範囲内				⑮ (1/27)	【定期試験】60点配分 <教科書①②・定期試験> 4択問題を中心に行い、理解度確認と読解力を高めることを目的とする。			
⑧ (11/11)	【到達目標】 <教科書②・着付け技術理論> 礼装・花嫁衣装・着物のいろいろの基礎知識を学び理解する。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
問題意識をもった授業参加を心がけよう!!									

講義シラバス

科目名	美容技術理論 I (クリエイティブ・コンテストスタイル)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	1年		講師名	土井 恵美 森岡 尚哉、櫻井 カナ			
講師 プロフィール	株式会社69グループは札幌に多数のサロン、飲食店などを展開しているグループ。 69に在籍しているサロンの幹部が授業を担当します。								
<p>スタイルブック作成やコンテストスタイル作成のために必要な知識、技術を身につけることができる。 個性を磨く学びで自分の強みを見出し、将来の姿を明確にすることができる。</p>									
【学習内容】									
作品撮りについて 自己分析シート、クリエイティブについて学ぶ ウィッグ制作									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カット用具一式、スタイリング用具一式、筆記用具、ノート ウィッグ(前期カラーリング授業で使用したウィッグ5台)									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/18)	【到達目標】 オリエンテーション、シラバスの確認 自己紹介、講師の作品撮り、紹介 会社でのフォトコン紹介&会社紹介				⑨ (11/27)	【到達目標】 作品撮り テーマを決めて表現する、相モデル			
② (10/2)	【到達目標】 作品撮りの撮り方ポイント 髪のかかし方、メイク、ファッション、背景について				⑩ (12/4)	【到達目標】 作品撮り テーマを決めて表現する、相モデル			
③ (10/9)	【到達目標】 自己分析シート、自分が好きな雰囲気や系統を知る ⇒それをコラボージュ作成(自分の好きを知る)				⑪ (12/11)	【到達目標】 発表会、シート(アドバイス)			
④ (10/16)	【到達目標】 クリエイティブコンセプトシート ウィッグ制作するためのシートを作成				⑫ (12/18)	【到達目標】 就活説明(会社を受けるうえで大切なこと) 就職する上で今回の授業の活かし方、スタイルブック			
⑤ (10/23)	【到達目標】 学祭準備日のため振替 ※授業なし				⑬ (1/15)	【到達目標】 学年末カットコンテストに向けてコンセプトシート作成 (本番は金髪ウィッグからの仕込みだが、練習は 前期カラーで使用したウィッグを使用するため、 カラーリング以外の部分で表現すること)			
⑥ (10/30)	【到達目標】 クリエイティブウィッグ制作 (ウィッグ①)				⑭ (1/22)	【到達目標】 テスト前練習 (ウィッグ②)			
⑦ (11/6)	【到達目標】 ウィッグ制作したものをシートとともにウィッグ発表会 (プレゼンテーション) (ウィッグ①)				⑮ (1/29)	【定期試験】60 定期試験 学年末カットコンテストに向けて試作品の作成、評価をもらう (ウィッグ③)			
⑧ (11/13)	【到達目標】 作品撮り準備(テーマ決め、デザインシート、相モデル)				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】 忘れ物をしないこと、遅刻欠席に気を付ける					●小テスト40点/定期試験60点				
					●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)				
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	文化論	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	1年		講師名		大澤 慶太		
講師 プロフィール	原宿ベル第1期卒業。美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら原宿ベルの講師として教育に携わり様々な授業を担当してきました。								
【授業を通じての到達目標】									
美容・ファッションの歴史を学び、感性を養い、業界の知識を得る。 国家試験合格のため、積極的に学ぶ姿勢を身につける。									
【学習内容】									
文化論の内容を理解し、美容業の歴史、日本のファッション文化史について学び、過去問題の意図を読み取り解答を導けるようになる。 それぞれが文化論を研究し、ヘアスタイルやメイクについて感性を広げる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
文化論の教科書、筆記用具、ノート、授業で配布したプリント									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/16)	【到達目標】 現代Ⅱ【1960年代～1970年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。				⑨ (11/25)	【到達目標】 昭和ヘアスタイルまとめ			
② (9/30)	【到達目標】 現代Ⅱ【1960年代～1970年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。				⑩ (12/2)	【到達目標】 昭和ファッションまとめとポイントの理解			
③ (10/7)	【到達目標】 現代Ⅱ【1960年代～1970年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。				⑪ (12/9)	【到達目標】 礼装について学ぶ 洋装について			
④ (10/14)	【到達目標】 現代Ⅲ【1980年代～1990年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。				⑫ (12/16)	【到達目標】 礼装について学ぶ 和装について			
⑤ (10/21)	【到達目標】 現代Ⅲ【1980年代～1990年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。				⑬ (1/13)	【到達目標】 前期の振り返りとポイントの確認			
⑥ (10/28)	【到達目標】 現代Ⅲ【1980年代～1990年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。				⑭ (1/20)	【到達目標】 後期の振り返りとポイントの確認			
⑦ (11/4)	【到達目標】 明治、大正、昭和初期まとめとポイントの理解				⑮ (1/27)	【定期試験】60 前期の内容と、後期の内容について確認できる内容の定期試験 筆記試験			
⑧ (11/11)	【到達目標】 明治、大正、昭和初期まとめ				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
遅刻・欠席・教科書等の忘れ物に注意し、授業に参加しましょう。									

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルへの道 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	1年	講師名	土井 恵美				
講師 プロフィール	大阪で美容師スタイリストを経験後、滋慶学園福岡ベルエポック美容専門学校に入職。 札幌ベルエポック美容専門学校に異動後は全学科の教務を担当。 コンテスト経験も多数あり、美容実習、美容技術理論の資格も保有しています。								
【授業を通じての到達目標】									
プロフェッショナルへの道の授業を通じて学年目標、クラス目標、個人目標を達成する。 社会で必要とされる基礎的なマナー、ルール、モラルを理解し、身構え、気構え、心構えを身に付ける。 業界で働くための知識や振舞い方を身に付けて、就職活動に備える。									
【学習内容】									
就職活動の内容を理解し、希望サロンに内定をもらえるよう準備を進める 履歴書作成、面接対応、内定後の対応などを学び、スムーズに内定を勝ち取れる準備を整える									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
・筆記用具 ・プロ道ファイル(新社会人基礎力冊子、就活の教科書冊子)									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/18)	【到達目標】 就職活動の流れの確認 就活の教科書 ～福利厚生について～ ～マナー教育～ 前期返却物 9月振り返り				⑨ (11/27)	【到達目標】 サロン体験について メーカー様授業候補日 11月振り返り			
② (10/2)	【到達目標】 就活の教科書 ～自分にあったサロン選び～ ～サロン見学の申込方～				⑩ (12/4)	【到達目標】 履歴書作成(自己PRについて) 席替え⑤			
③ (10/9)	【到達目標】 就活の教科書 ～自分にあったサロン選び～ ～サロン見学の仕方～ ベルフェス打ち合わせ				⑪ (12/11)	【到達目標】 履歴書作成(志望動機について) 学年末カットコンテストについて ～コンセプトシート作成～			
④ (10/16)	【到達目標】 さんぽう就職ガイダンスについて確認 ベルフェス準備				⑫ (12/18)	【到達目標】 就活の冊子 ～採用内定までの流れについて①～ 冬休みの課題告知 12月振り返り			
⑤ (10/23)	【到達目標】 学祭準備日のため課題対応 ※授業なし 席替え④				⑬ (1/15)	【到達目標】 就活の冊子 ～採用試験から内定までの流れについて②～ お礼状、送付状などの書き方について(参考資料配布)			
⑥ (10/30)	【到達目標】 履歴書作成 ～履歴書の書き方、種類の説明～ 10月振り返り				⑭ (1/22)	【到達目標】 就活面接について ～実際に面接練習をやってみよう～			
⑦ (11/6)	【到達目標】 ポートフォリオ作成、SNS自己ブランディングについて②				⑮ (1/29)	【定期試験】60 定期試験 就活の教科書より出題 入学して1年経過して振り返り サロン体験について最終確認 修了式について			
⑧ (11/13)	【到達目標】 就活の冊子 ～TOPサロンについて～				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容実習 I (ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	1年		講師名	北俣 京子、中山 里美 園田 翔太郎			
講師 プロフィール	市内サロン就職 その後北海道美容専門学校勤務 数年前よりベルエポック美容学校講師として勤務								
【授業を通じての到達目標】									
国家試験合格に必要な知識・技術・姿勢を身につけることができる。 ワインディングの全体の構成を理解し、実践しながら完成度を高めることができる。									
【学習内容】									
準備片付けを効率よく進め上巻き下巻き姿勢の技術習得									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ワインディング用具一式、ノート、筆記用具、タオル									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/15)	【到達目標】 左BS 姿勢、スライス、ステムを理解しスムーズに巻ける				⑨ (11/17)	【到達目標】 距離感、姿勢を意識して巻くことができる センター 7分 ・右BS 10分 ・左BS 9分			
② (9/29)	【到達目標】 左BS 姿勢、スライス、ステムを理解しスムーズに巻ける				⑩ (11/24)	【到達目標】 面に艶があり ロッド幅に毛が広がっている センター 7分 ・右BS 9分 ・左BS 8分			
③ (10/6)	【到達目標】 センターのバランス確認 左BS 上巻き、下巻き バランス良くスムーズに巻ける				⑪ (12/1)	【到達目標】 オンベース、オフベースを正確に巻ける センター 7分 ・右BS 9分 左BS 8分			
④ (10/13)	【到達目標】 センター、右BSのバランス確認 左右のBSバランス良く シンメトリーに巻き収められる				⑫ (12/8)	【到達目標】 オンベース、オフベースを正確に巻ける センター 7分 ・右BS 9分 左BS 8分			
⑤ (10/20)	【到達目標】 根本よりしっかりとシェープができ 面に艶があり シンメトリーに巻き収められる				⑬ (12/15)	【到達目標】 全体のバランスが良くシンメトリー、面に艶がある 全頭 25分			
⑥ (10/27)	【到達目標】 ラウンド・バランスを正確に巻き収められる 右BS 12分 ・左BS 10分 センター1本23秒				⑭ (1/12)	【到達目標】 全体のバランスが良くシンメトリー、面に艶がある、正確なゴム 掛けができる 全頭 25分			
⑦ (11/3)	【到達目標】 ラウンド・バランスを正確に巻き収められる 右BS 11分 ・左BS 9分				⑮ (1/19)	【定期試験】50 1年間で習得した技術を正確に巻く 時間内完成 25分			
⑧ (11/10)	【到達目標】 センターを真つすぐにバランスよく収められる センター 7分 ・右BS 10分 ・左BS 9分				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容実習 I (オールウェーブ)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	1年	講師名	園田 翔太郎 北俣 京子				
講師 プロフィール	美容専門学校卒業後、サロンにてアシスタント・スタイリストとしての経験を積み、ベルエポックで学生教育にも携わる。国家試験科目の授業を担当し、国家試験合格に向けて学生をサポートしていきます。								
【授業を通じての到達目標】									
国家試験実技課題であるオールウェーブ7段構成の完成に向け、基本であるフィンガーウェーブの技術力をつける オールウェーブ7段構成を理解して、作ることができるようになる									
【学習内容】									
正確なウェーブ幅、テンションの効いた艶のあるウェーブ、リッジ、7段と縦 1/3のバランス、ピンカールの技術力をつける									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
AW道具一式・タオル4～5枚・筆記用具・雑巾									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/16)	【到達目標】 授業・到達目標の確認、授業を受ける上でのルールを理解する。 道具の名称、使い方、ウィッグの取り扱い方、ローションの作り 方、基本姿勢を理解する。ウェーブ・リッジを作ってみる。1段目 止める。				⑨ (11/25)	【到達目標】 フロントサイドのウェーブ幅を習得しバランスの良い額を作れるよ うになる。 縦3等分のくり抜き、4、5、6段目縦幅を意識して横スライスを正 確にとれるようになる。左右ウェーブのバランスを意識できるよう になる。			
② (9/30)	【到達目標】 フィンガーウェーブ、基本姿勢を理解する。 正しい目線、セットコームの持ち方、45度シェープの動作、ウェ ーブを作る上での技術力を身につけるようになる。 ウィッグの洗い方を理解する。				⑩ (12/2)	【到達目標】 馬蹄の毛流れを作れるようになる。 スライスの取り方を理解し、カールを作れるようになる。			
③ (10/7)	【到達目標】 正しい目線、セットコームの持ち方、45度シェープの動作、 ウェーブを作る上での技術力を身につけ、2段目からウェーブ・ リッジがつかれるようになる。フルウェーブを理解する。				⑪ (12/9)	【到達目標】 馬蹄の毛流れ、カールを作れるようになる。 右FS、左FSまでの額を作れるようになる。			
④ (10/14)	【到達目標】 コームの使い方、基本姿勢を意識し、2段目ウェーブ幅のバラ ンス、全体のウェーブ幅のバランスを理解できるようになる。 タイムを意識してフルウェーブを作れるようになる。				⑫ (12/16)	【到達目標】 馬蹄～スカルプチュアカール、右FS、左FSまでの額 練習 タイムを意識して作れるようになる(26分)			
⑤ (10/21)	【到達目標】 基本姿勢を意識し、2段目ウェーブ、リッジをバランス良くつくる ことができるようになる。バランスの良いウェーブ幅で7段目まで作 れるようになる。ウェーブの構成を理解する。				⑬ (1/13)	【到達目標】 苦手な部分を強化することができる。 バランスの良い額が作れるようになる。(25分)			
⑥ (10/28)	【到達目標】 2段目～7段目ウェーブ、基本動作、コームの使い方、目線を意 識し、バランスの良いウェーブ幅、割れないウェーブ、リッジをバラ ンス良くつくるようになる。15分で作れるようになる。 3段目スカルプチュアカールに入る。				⑭ (1/20)	【到達目標】 定期試験に向けて強化 25分でバランスの良い額ができるようになる。			
⑦ (11/4)	【到達目標】 2段目～7段目ウェーブ：15分で作れるようになる(強化) 3段目スカルプチュアカール：目線、姿勢、コームの使い方 割れないウェーブ、リッジ、バランスの良い2段目が作れるよう になる。				⑮ (1/27)	【定期試験】60 時間内に正確な額をつくること 1段目馬蹄～2段目～3段目スカルプチュ アカールながら、4、5、6段目スライス取り、 25分で時間内完成			
⑧ (11/11)	【到達目標】 スカルプチュアカール復習、ピンギの手つきができるようになる 。3段目にスカルプチュアカールを正しく入れるようになる。 タイムを意識して作れるようになる。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
遅刻・欠席・忘れ物などなく日々の積み重ねを大切にしてください。 上記に加え授業態度等も評価の対象となります。									

講義シラバス

科目名	美容実習 I (カット&スタイリング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	1年	講師名	大澤 慶太、林 京平、長瀬 秀平				
講師 プロフィール	林-ベルエポック3期生。ONTHEディレクター。サロンワークの他に講師、ヘアショー、コンテスト撮影など様々な活動をしている。 長瀬-PEEK-A-BOOに入社。 6年間で数々の有名人を担当、ヘアショーや海外セミナーにも参加。2021年に札幌に戻りSnip入社								
【授業を通じての到達目標】									
最新のトレンドを理解し、それに合わせたカット技法やスタイリングを身につける。 時間を意識したカットができるようになる。 顔型や骨格に応じたカット、スタイリング技術を学び、身につける。									
【学習内容】									
カットでのシルエットの作り方を理解する ドライでの質感、毛量の調整の仕方を理解する サロンスタイルで使えるトレンドスタイルの切り方を理解する スタイリングについて理解する									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カット道具一式、ブロー道具一式、スタイリング道具一式 ウィッグip200(前期・後期合わせて10台)									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/14)	【到達目標】 学生技術大会見学へ振替 ※授業なし				⑨ (11/30)	【到達目標】 ウィッグ②メンズスタイル			
② (9/28)	【到達目標】 ウィッグ②グラデーションカットを理解する				⑩ (12/7)	【到達目標】 ウィッグ③メンズスタイル			
③ (10/5)	【到達目標】 ウィッグ②グラデーションカットを仕上げ、ブローの仕方を理解する				⑪ (12/14)	【到達目標】 ウィッグ③メンズスタイル			
④ (10/12)	【到達目標】 ウィッグ②グラデーションカット、ブローを仕上げる 時間を意識する				⑫ (12/21)	【到達目標】 ウィッグ⑥レディースショート			
⑤ (10/19)	【到達目標】 ウィッグ⑤グラデーションカットを授業内で2回カットブローを仕上げる				⑬ (1/18)	【到達目標】 ウィッグ⑥レディースショート 定期試験のスタイルを、考える			
⑥ (10/26)	【到達目標】 ウィッグ⑤⑥グラデーションカットブローのクオリティを上げる				⑭ (1/25)	【到達目標】 定期試験の練習			
⑦ (11/2)	【到達目標】 ウィッグ⑥グラデーションカットテスト				⑮ (2/1)	【定期試験】60 ウィッグ⑦定期試験フリースタイル			
⑧ (11/9)	【到達目標】 ウィッグ②サロンスタイルメンズ				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
忘れ物をしない 道具を大切にする(自己管理) ウィッグを間違えない(ナンバリングと名前を記入)									

講義シラバス

科目名	美容実習Ⅰ (カラーリングデザイン)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	1年	講師名	土井 恵美 生井 音々、宮崎 美乃里				
講師 プロフィール									
【授業を通じての到達目標】									
ブリーチの基本的な理論(髪への影響、化学反応、仕組み、髪構造等)とその役割を理解し、基礎的な技術を身につける 部分的なブリーチテクニック(ハイライト、ローライト、バレイヤージュ等)の技術を学び身につける ブリーチを施す際の注意点(肌の保護、パッチテストの重要性等)を理解し、安全に作業することができる 全体ブリーチ、部分ブリーチ(根本、毛先等)の基本的な技術を習得し、均一に仕上げる事ができる									
【学習内容】									
カラーの基礎知識から応用までを座学、実技で学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カラー用具一式、タオル、シート、筆記用具、ノート ウィッグip150(前期・後期合わせて10台)									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/17)	【到達目標】 ブリーチありダブルカラー①				⑨ (11/27)	【到達目標】 ウィッグでハイライト①			
② (10/1)	【到達目標】 ブリーチありダブルカラー②				⑩ (12/4)	【到達目標】 ウィッグでハイライト②			
③ (10/8)	【到達目標】 塩基性カラー①				⑪ (12/11)	【到達目標】 相モデルでハイライト①			
④ (10/15)	【到達目標】 塩基性カラー②				⑫ (12/18)	【到達目標】 相モデルでハイライト②			
⑤ (10/22)	【到達目標】 インナー、フェイスフレーミング、イヤリング、アンブレラなどデザイン				⑬ (1/15)	【到達目標】 バレイヤージュ			
⑥ (10/29)	【到達目標】 ルーツカラー				⑭ (1/22)	【到達目標】 定期試験前の復習			
⑦ (11/6)	【到達目標】 ブリーチで作るグラデーション				⑮ (1/29)	【定期試験】60 定期試験			
⑧ (11/13)	【到達目標】 前頭ブリーチでつくるグラデーション				【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容実習Ⅰ (ヘアアレンジ & メイク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	1年		講師名	岩淵 太秀、穴戸 優、水戸 愛里			
講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活躍の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。								
【授業を通じての到達目標】									
基本的なヘアアレンジ技術 & メイク技術を身に付け、作品撮りや撮影に必要な技術を身につける									
【学習内容】									
美容師として活躍するために必要なヘアアレンジとメイクの技術の幅を広げる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/17)	【到達目標】 オリエンテーション、ヘアアレンジ前期の復習				⑨ (11/27)	【到達目標】 成人式ヘアアレンジ 流行を知り着物に合わせたアレンジを実技する			
② (10/1)	【到達目標】 ヘアアレンジ フォワード、リバース巻きを再度理解、アイロン巻き復習、ハーファアップ				⑩ (12/4)	【到達目標】 ブライダルヘアアレンジ(ヘアチェンジ) ブライダルヘアのデザインを知り、ヘアチェンジまで実技する			
③ (10/8)	【到達目標】 ヘアアレンジアップスタイル ビン打ちやゴムの縛り方を理解する				⑪ (12/11)	【到達目標】 イベントヘアメイク グリッターやストーン 日常とは違う華やかさを、ポイントメイクとヘアアレンジで表現する			
④ (10/15)	【到達目標】 ウェーブ巻きを理解、左右均等に巻けるようになる。アイドルヘア				⑫ (12/18)	【到達目標】 ヘア & メイク作品撮り サロンスタイル 相モデル① テーマに合わせてヘアデザイン、メイクデザインをモデルに合わせて実技。作品撮影する			
⑤ (10/22)	【到達目標】 韓国アイドルヘア 様々なバリエーションを知り何パターンか完成させる。				⑬ (1/15)	【到達目標】 ヘア & メイク作品撮り サロンスタイル 相モデル② テーマに合わせてヘアデザイン、メイクデザインをモデルに合わせて実技。作品撮影する			
⑥ (10/29)	【到達目標】 様々な傷メイクのバリエーションを理解し実技。猫耳ヘアなど個性的なアレンジの実技。				⑭ (1/22)	【到達目標】 定期試験用練習			
⑦ (11/6)	【到達目標】 ハロウィンヘア 個性的なイベントアレンジを調べ実技。				⑮ (1/29)	【定期試験】60 定期試験			
⑧ (11/13)	【到達目標】 キッズヘアアレンジ キッズコレクションなどのステージアレンジを知り実技。				【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容総合 I (シャンプー & サロンワーク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	学年	1年	講師名	園田 翔太郎、伊藤 元気				
講師 プロフィール	美容専門学校卒業後、サロンにてアシスタント・スタイリストとしての経験を積む。 美容師としての経験を活かし、ベルエポックで学生教育に携わる。それぞれの経験を生かし即戦力となる 技術スキル・人間力を授業を通して伝えていきます。								
【授業を通じての到達目標】									
シャンプーからスタイリングまでの技術を通して、サロンに必要な接客技術を身につけることができる。 美容師としての在り方、考え方を学び専門性を高め、授業を通して即戦力となるアシスタント力を身につけることができる。 業界で必要な技術、知識を身につけるとともに、最新のトレンドを兼ね備えた人材を目指すことができる。									
【学習内容】									
シャンプー、トリートメント、ヘッドマッサージ、ドライ、ブロー、スタイリングの流れを実践しながら、 サロンワークに必要な知識、接客、コミュニケーション力を学ぶ。 サロンワークを意識した学びから、即戦力となる行動ができるようになり就職活動へと繋げる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
シャンプー道具一式・カラー道具一式・パーマ道具一式 デンマンブラシ・ドライヤー・アイロン・コテ・タオル・筆記用具 スタイリング剤									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/15)	後期の授業の流れについて理解できる シャンプー、トリートメント、ドライ、スタイリングの流れをスピードを意識して 実践できるようになる。(相モデルで実践) 前期の振り返り				⑨ (11/24)	カウンセリングについて理解する。 お客様の要望の聞き出し、心地の良い空間の提供、 コミュニケーションを通し、信頼を得るカウンセリングができるようになる。			
② (9/29)	作品撮り① 就活をイメージして、モデルに合わせたコンセプトを考えてスタイリングし、 撮影までできる(相モデルで実践) 撮影のポイントを理解して実践することができる。				⑩ (12/1)	カウンセリングについて理解する。 お客様の要望の聞き出し、心地の良い空間の提供、 コミュニケーションを通し、信頼を得るカウンセリングができるようになる。			
③ (10/6)	作品撮り② 就活をイメージして、モデルに合わせたコンセプトを考えてスタイリングし、 撮影までできる(相モデルで実践) 撮影のポイントを理解して実践することができる。				⑪ (12/8)	学内サロンに向けたトレーニング 学内サロンの流れをイメージしながら施術、行動することができる。 技術のスピード、レベルを上げることができる。			
④ (10/13)	アシスタントに必要な知識を身につけ、実践することができる。 パーマ、カラーのヘルプを学び、アシスタントとしての動きを理解する。 サロンワークを意識した動きができるようになる。				⑫ (12/15)	学内サロンに向けたトレーニング 学内サロンの流れをイメージしながら施術、行動することができる。 技術のスピード、レベルを上げることができる。			
⑤ (10/20)	モデルに合わせたスタイリングを実施し、 ポイント、そのスタイリングにした理由、効果をプレゼンできるようになる。 相モデルで実施。				⑬ (1/12)	学内サロン実施 12/〇〇、12/〇〇 ご家族、ご友人を招待して、学んだ技術を提供することができる。 12/15の授業は振替のため、休みとなります。			
⑥ (10/27)	モデルに合わせたスタイリングを実施し、 ポイント、そのスタイリングにした理由、効果をプレゼンできるようになる。 相モデルで実施。				⑭ (1/19)	定期試験に向けたトレーニング スピードを意識し、技術力を向上することができる。			
⑦ (11/3)	学内サロンについて理解することができる。 サイドシャンプーに触れてみる。流れを確認する。				⑮ (1/26)	【定期試験】60 1年間で修得した技術を実践できるようになる。 シャンプー技術: 15分 ドライ、スタイリング技術: 35分～40分 スタイリング後、撮影して提出。スタイリングに対してのプレゼン。 サロンワークを意識した服装であること。			
⑧ (11/10)	学内サロンについて理解することができる。 自分の苦手な部分を確認して、上達できるように練習ができる。				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容総合Ⅰ (アイラッシュ&ブロー)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	美容師科	学年	1年	講師名	小林 梨奈、勝部 郁美				
講師 プロフィール	株式会社EYE SENSEエリア責任者。4店舗のエリア責任者としてスタッフの技術、接客、組織人としての育成をし、現場全体のクオリティ向上を担う。2022年より市内の美容学校の講師や、自社のOVERLASHアカデミーのプロ育成講師を務める。								
【授業を通じての到達目標】									
アイラッシュ、アイブローの基礎知識、基礎技術を理解し、トータルビューティの視点をもち、お客様一人ひとりに合わせたデザイン提案ができる基礎知識を学ぶ。 また技術を扱うにあたっての注意事項、衛生管理を理解し言語化できる状態を目指す									
【学習内容】									
サロンワークに直結する内容として下記を取得する。・まつげエクステ、アイブローの基礎知識・基礎技術(装着・デザイン・バランス)・カウンセリング方法(悩みの聞き出し方)・デザイン提案(似合わせ・トレンド理解)・衛生管理・安全管理・施術時の注意点とトラブル回避									
					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
アイラッシュ用具キット一式、ウィッグ、目元パーツ(装着用・テーブルワーク用) テキスト、筆記用具、ノート、 コットン、ゴミ袋、消毒液									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/14)	【到達目標】 学生技術大会見学へ振替 ※授業なし				⑨ (11/30)	【到達目標】 (学科): アニメラッシュの特徴、見た目の効果、向いている方 (実技): アニメラッシュ			
② (9/28)	【到達目標】 (学科): アイデザイナーの仕事内容・役割を理解し、アイデザイナーの魅力を知る。・1日の流れ、向いている人、求められるスキル・現役アーティストの声を聞きイメージする (実技): ペーパー装着				⑩ (12/7)	【到達目標】 (学科) シースルーラッシュの特徴、見た目の効果、向いている方 (実技): シースルーラッシュ			
③ (10/5)	【到達目標】 (学科): サロン選びの基準を理解し、自分の働き方・価値観に合った就職先をイメージする力をつける。成長できるサロンの見極め方・面接で見られているポイント・美容業界の企業視点と人間力の重要性。 (実技): ウィッグ装着(3種技法)				⑪ (12/14)	【到達目標】 (学科): 振り返り (実技): シースルーラッシュ			
④ (10/12)	【到達目標】 (学科): マツエクの目的・効果・お客様のお悩みに特化した様々な技法を理解する。マツエクとは? 技法の種類、マツエクとパーマの違い。 (実技): シアングルー、最新LED装着デモ・ウィッグ装着(ゴージャスデザイン)				⑫ (12/21)	【到達目標】 (学科): 「なんとなく眉毛を描く」から卒業。眉の役割・基本のデザイン・各パーツ(眉頭、眉山、目尻)・NG眉(古いトレンド・やりがち失敗ケア)・顔型別の基本デザイン (実技) ペーパーアイブローデザインデッサン(4種)			
⑤ (10/19)	【到達目標】 (学科): 使用商材の理解・サロンワークに必要な道具、溶剤を正しく理解し、使用目的を理解する。(ツイザー・コム・テブ・リムーバーなどの役割) グルーの種類 (実技): デザイン装着(キュート・セクシーデザイン)				⑬ (1/18)	【到達目標】 (学科): 間引きの効果・まつげパーマの効果 (実技): ウィッグアイブローデザイン(4種)			
⑥ (10/26)	【到達目標】 (学科): 人口毛(カール・長さ)を理解する。お客様の目元、地まつ毛お状態に合わせて最適な選定ができるようになるために人口毛を理解する。毛周期をりかい (実技): カラーラッシュ装着				⑭ (1/25)	【到達目標】 まつげエクステーション及び、アイブロー学科テスト			
⑦ (11/2)	【到達目標】 (学科): デザイン提案とカラー理論・骨格や印象、パーソナルカラーに基づいてデザインができるように理解する。下まつ毛の効果 (実技): カラーラッシュ装着				⑮ (2/1)	【定期試験】60 まつげエクステーション及び、アイブロー実技テスト			
⑧ (11/9)	【到達目標】 (学科): カウンセリング技術と安全管理、カウンセリングの目的(体調、デザイン) 実際のカウンセリングシートを見て全ての項目の意図を理解する。アフターケア (実技): アニメラッシュ装着				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
出席管理及び、遅刻、忘れ物管理の徹底。学生一人一人の個性と成長スピードを尊重し、寄り添いながら指導を行います。また知識、技術だけではなくプロとしての姿勢・考え方を育てることを大切にします。									